

伏見界隈

水運で繁栄した街、伏見には当時を物語る史跡が今も残る。幕末の志士が飛びだしてきそうな雰囲気が漂っています。

阪急京都線 河原町駅

中書島駅下車
京阪本線祇園四条駅から

1 伏見港公園
徒歩 ▶ 1分

2 寺田屋跡
徒歩 ▶ 7分

3 坂本龍馬像
徒歩 ▶ 10分

4 大黒寺
徒歩 ▶ すぐ

5 松林院墓地
徒歩 ▶ 4分

6 薩摩島津伏見屋敷跡碑
徒歩 ▶ 8分

7 悟真寺(会津藩士之墓)
徒歩 ▶ 10分

8 玄忠寺(長州藩の駐屯所)
徒歩 ▶ 2分

9 泉経寺(長州藩の駐屯所)
徒歩 ▶ 12分

10 龍雲寺(桃山善光寺)
徒歩 ▶ 6分

11 御香宮神社
敷地内

12 明治維新 伏見戦跡碑
徒歩 ▶ 5分

13 伏見奉行所跡碑
徒歩 ▶ 3分

14 料亭魚三樓
徒歩 ▶ 1分

祇園四条駅下車
京阪本線伏見桃山駅から

徒歩 ▶ 3分

徒歩 ▶ 1分

阪急京都線 河原町駅

2 寺田屋跡

てらだやあと

1862(文久2)年、薩摩藩急進派が島津久光の鎮撫隊と斬りあいになった寺田屋騒動と、1866(慶応2)年、龍馬が伏見奉行所に襲われた寺田屋事件と二つの事件の舞台。龍馬が寺田屋を定宿とするようになったのは、1865(慶応元)年夏頃のこと。



☎075-622-0243

10:00~15:40 / 月曜不定休 / 大人400円、中高大学生300円、小学生200円(宿泊6,500円 ※要予約)

3 坂本龍馬像(寺田屋敷地内)

さかもとりょうまぞう

「薩長連合、大政奉還、あれはぜんぶ龍馬一人がやったことさ」と勝海舟に言わせるほどの男。像の前には龍馬代表作の歌「世の人はわれを何とも云はばいへ わがなすことは 我のみぞ知る」が建てられている。



坂本龍馬像



薩摩島津伏見屋敷跡碑

6 薩摩島津伏見屋敷跡碑

さつましまずふしみやしきあとひ

1866(慶応2)年、薩長同盟成立の重要人として、寺田屋で襲われ負傷した龍馬は薩摩伏見留守居役大山彦八に救出され、この地に避難した。

